

ヒト組換え抗体発現用ベクター TGEX Vector シリーズ

HEK293, CHO などの細胞株におけるヒト組換え抗体の発現に用いるベクターです。例えば軽鎖と重鎖を発現するベクターを宿主細胞にコトランスフェクションさせることにより、完全長抗体の発現が行えます。

ベクターの組み合わせ	得られる抗体のフォーマット	適した精製方法
TGEX-HC-hG1+TGEX-LC-hK	完全長ヒトまたはヒトキメラ型の IgG ₁ /k	Protein A / G 精製
TGEX-HChis+TGEX-LC-hK	完全長ヒトまたはヒトキメラ型の IgG ₁ /k	Protein A / G 精製または IMAC ^{*1}
TGEX-FH+TGEX-LC-hK	ヒトまたはキメラ型の IgG ₁ /k	Protein G / L 精製または IMAC ^{*1}
TGEX-FC (単独使用)	V _H 領域と Fc 領域の融合配列	Protein A / G 精製
TGEX-SCblue (単独使用)	scFv と Fc 領域の融合配列	

※軽鎖、重鎖それぞれを発現するベクターの宿主細胞への導入量の比率は、抗体毎に検証して下さい。

※上記の表では、κ 軽鎖 (#MX002) を用いる場合について記しています。λ 軽鎖 (#MX013) を用いる場合は表を同様に読み替えて下さい。

※Protein A / G / L 精製については、目的抗体毎に検証を行って下さい。

※eGFP 発現ベクター (#MX012) を用いて、宿主細胞への導入効率の確認が行えます。

*1 IMAC : 固定化金属イオンアフィニティクロマトグラフィ (Ni キレートカラムなど)

[メーカー: ADL]

ベクターにクローニングする配列	発現物	ベクター名	商品コード	包装	価格 (¥)
V _L 領域	ヒト κ 軽鎖	TGEX-LC-hK	MX002	10 μg	94,000
	ヒト λ 軽鎖	TGEX-LC-hL NEW	MX013	10 μg	94,000
V _H 領域	ヒト IgG ₁ 重鎖	TGEX-HC-hG1	MX001	10 μg	94,000
	ヒト IgG ₁ 重鎖 (C 末端に His タグ融合)	TGEX-HChis	MX005	10 μg	94,000
	ヒト IgG ₁ 重鎖 (Fab 領域)	TGEX-FH	MX004	10 μg	94,000
	V _H 領域とヒト IgG ₁ 重鎖由来 Fc 領域の融合配列 ^{*2}	TGEX-FC	MX003	10 μg	94,000
	ヒト IgG ₂ 重鎖	TGEX-HC-hG2 NEW	MX014	10 μg	94,000
scFv 配列	scFv と Fc 領域の融合配列	TGEX-SCblue	MX006	10 μg	98,000
—	GFP (コントロール)	TGEX-eGFP	MX012	10 μg	84,000

*2 通常のヒト IgG₁ 重鎖と比較すると、V_H 領域と CH2 領域の間の CH1 領域が欠落している。



Web ページ番号

68954



NEW 血清やスワブ検体などの幅広い試料から
ウイルス RNA を抽出するキット

ExtractNow Virus RNA Kit

生体液 (血清, 血漿, 尿, 細胞培養上清など) だけでなく、組織やスワブ検体など、幅広い試料からウイルス RNA を抽出できるキットです。

- フェノール/クロロホルム抽出は不要です。
- 精製された核酸は夾雑物を含まないため、PCR や RT-PCR などのアプリケーションに適しています。

品名	メーカー	商品コード	包装 / 価格 (¥)
ExtractNow Virus RNA Kit NEW	MNV	611-1250	250 tests / 259,000

こちらもオススメ

サテライトコロニーを抑える抗生物質 qARTAcillin

従来用いられているアンピシリンおよびメチシリンのような一般的な抗生物質の代わりとして使用できます。



[メーカー: QAR]

Web ページ番号

8091

